

令和5年度

東北農政局宮城野第二庁舎給排水設備改修工事

特別仕様書

東北農政局

第1章 総 則

東北農政局宮城野第二庁舎給排水設備改修工事の施工に当たっては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（以下「改修標準仕様書」という。）に基づいて実施する。

改修標準仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、東北農政局宮城野第二庁舎（以下「第二庁舎」という。）1階会議室を、米・大豆等の作況統計を把握する作業を行う仮設統計調製室として使用するため、給排水管について既設給排水設備に引込接続する改修工事を行うものである。

2. 工事場所

宮城県仙台市宮城野区新田2丁目22-1

3. 工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

なお、詳細は、第7章 工事計画及び第9章 施工3. 施工に示すものとする。

第二庁舎給水設備及び排水設備（污水）並びに雨水排水設備の引込接続改修 1式

- ① 給水設備の引込改修（地中配管他 56.7m） 1式
- ② 給水設備の配管付属品、水栓類、量水器（20mm）他 1式
- ③ 排水設備（污水）の接続改修（地中配管 38.0m） 1式
- ④ 排水設備（污水）の配管付属品、污水枡他 1式
- ⑤ 雨水排水設備の接続改修（地中配管）（地中配管 26.2m） 1式
- ⑥ 雨水排水設備の配管付属品、雨水枡他 1式
- ⑦ 申請書類作成等 1式
- ⑧ コンクリート内X線非破壊検査 3箇所

4. 工事数量

別紙工事数量表のとおりである。

第3章 施工条件

1. 作業時間の制限

作業時間は、近隣が住宅地であるため、原則午前8時から午後5時とする。

なお、車両の運行は、通学時間帯に配慮して行うものとする。

2. 工事を施工しない日及び工事を施工しない時間帯

- (1) 工事を施工しない日 原則、土曜日、日曜日、祝日、夏季休暇。ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りでない。

- (2) 工事を施工しない時間帯 平日の午後5時から午前8時まで。ただし、発注者と受注者の間で協議の上、別に定める場合はこの限りでない。

3. 工事期間と工程制限

- (1) 本工事の作業着手は速やかに行うものとし、その詳細については監督職員と打合せするものとする。
- (2) 工事に先立ち、速やかに仙台市水道局給水部及び下水道経営部と打合せを行うと共に、工事に先立つ申請書類を作成して、監督職員と確認後に仙台市へ申請し審査を受けるものとする。
また、耐圧試験及びしゅん工検査は立会いするものとする。
- (3) 仙台市水道局への給水設備に係る設計審査手数料及びしゅん工検査手数料並びに水道加入金は、東北農政局が仙台市水道局へ支払うものとする。
- (4) 仙台市水道局給水部及び下水道経営部のしゅん工検査は、令和5年9月上旬を目指している。
- (5) 条件変更に係る協議があった場合は、その都度打合せ簿による処理で工事を先行し、施工後に工事材料の規格・数量及び施工方法等を精査し、内容によっては工期内に変更契約締結することを考えている。

第4章 工事用地等

1. 庁舎敷地及び施設の使用

次に示す庁舎の敷地及び施設は、無償で利用できるものとする。

- ① 敷地の工事車両駐車及び第二庁舎内の工事機材置場
- ② 敷地の工事中における現場事務所及び仮設トイレ設置

第5章 工事用電力及び水道

1. 工事用電力の使用と負担

本工事に必要な電力は、受注者の負担とする。

なお、第二庁舎内の従量電灯は無償で利用できるものとする。

2. 工事用水道の使用と負担

工事期間中における耐圧試験通水後の水道料金及び下水道料金は、東北農政局が仙台市水道局へ支払うものとする。

第6章 共通仮設（仮設建物）

本工事に必要な仮設トイレの設置撤去及び排泄物の処理は、受注者の負担とする。

第7章 工事計画

1. 施設の現状と利用計画

(1) 施設の現状

- 1) 宮城野庁舎他の全体施設に給水していた上水道設備及び下水道設備並びに雨水排水設備は、令和3年3月に解体撤去済みである。
- 2) 既設の50mm量水器（地上指示計含む）は、存置されている。
- 3) 既設の公設枡は、存置されている。

- 4) 敷地内の既設雨水排水設備の一部は、存置されている。
- 5) 既設調整室（プレハブ建物）屋根の雨水排水設備は、切断して地上に排水されている。
- 6) 水道の加入状況は、水道廃止申込書を令和2年5月27日に提出したが、仙台市水道局給水部へ確認し、給水装置休止扱いとなっている。

(2) 利用計画

- 1) 第二庁舎1階会議室を、令和5年6月頃から令和8年3月末まで仮設統計調製室として使用し、その作業に付随して第二庁舎1階の玄関・ホール・女子便所・男子便所及び湯沸室も使用しながら、消費者の部屋を休憩場所に使用する。なお、編成は5人程度で出向き、統計調整作業時期は、6月上旬から12月上旬で、作業日数は不定期である。
- 2) 第二庁舎の上記1)以外の部屋及び調整室（プレハブ建物）は、倉庫に使用するものの、人の立ち入りは日中で、極めて少ないことから通電も行わない。
- 3) 第二庁舎の使用水栓箇所は、1階の男子トイレ・女子トイレ・湯沸室である。

2. 給水設備計画

- 1) 既設使用水栓は、次のとおりである。

場所	名称	箇所	備考(同時使用水量計画)
1階男子トイレ	掃除流し	1	
1階男子トイレ	大便器	1	12L/min×1
1階男子トイレ	小便器	2	12L/min×2
1階男子トイレ	手洗い	1	
1階女子トイレ	大便器	1	12L/min×1
1階女子トイレ	手洗い	1	
1階湯沸室	流し	1	湯沸器は使用しない

- 2) 給水契約口径は、20mmで計画している。
 なお、仙台市水道局給水部と契約口径の選択と配管の段落ちを確認し、既設50mmの設備は撤去返還する計画であり、コンクリート量水器箱は撤去するよう指示されている。
- 3) 引込み給水管のフランジ部付近の処理は、仙台市水道局給水部から十分検討を指示されたが、フランジ部の補強と塗装及び防食処理で計画している。
 また、量水器箱の設置位置は、既設の位置及び地形並びに配置上から敷地内側でもやむを得ないとのことであるが、極力近傍に計画している。
- 4) 給水設備配管の長さは、分岐から末端の給水用具まで59.5mで計画している。

3. 排水設備（污水）計画

- 1) 既設使用器具は、次のとおりである。

場所	名称	箇所	備考(最大排水量計画)
1階男子トイレ	掃除流し	1	

1 階男子トイレ	大便器	1	4. 8L/3 秒=1. 6L/秒
1 階男子トイレ	小便器	2	
1 階男子トイレ	手洗い	1	
1 階女子トイレ	大便器	1	4. 8L/3 秒=1. 6L/秒
1 階女子トイレ	手洗い	1	
1 階湯沸室	流し	1	湯沸器は使用しない

2) 排水管（污水）口径は、満管流時及び 0. 5H 管流時並びに既設管径を考慮して計画している。

3) 既設公設枡のインバートは、VP200A から VU125A に管径が縮小されることから改造を計画している。

4. 雨水排水設備計画

1) 第二庁舎屋上雨水排水は、仙台市下水道経営部と確認し、既設排水枡へ接続するものとするが、調整室（プレハブ建物）の屋根雨水排水は、対象外である。

第 8 章 工事用材料

1. 見本又は資料提出

本工事で使用する工事用材料は、使用前に試験成績書、品質証明書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

第 9 章 施工

1. 一般事項

(1) 施工に先立ち、全体工事工程表及びその補足として週間工程表を作成し、監督職員に提出するものとする。

(2) 作業の実施に当たっては、必要な養生を行うものとし、作業終了後は、その都度清掃及び後片付けを行うものとする。

(3) 工事の施工に当たっては、庁舎施設・備品等に損傷を与えないよう十分注意するものとし、受注者の責により損傷を与えた場合は、速やかに復旧するものとする。

(4) 第二庁舎の次に示す箇所（建具は除く。）の塗料又は下地調整材は、アスベストを含んでいるため、工事の施工に当たっては、損傷を与えないよう十分注意するものとする。

なお、本工事の施工に当たっては、その箇所に穴あけ等の改修を加えない内容で計画している。

- ① 増築棟（正面玄関に向かって左側）1 階及び 2 階の外壁
- ② 増築棟 1 階玄関の外壁及び内壁
- ③ 既設棟 1 階ホール内壁
- ④ 既設棟 1 階から 2 階階段室内壁
- ⑤ 既設棟・増築棟 2 階廊下内壁

2. 建設資材廃棄物等の搬出

本工事の施工に伴う建設資材廃棄物等は、次に示す処理施設へ搬出することを計画している。

なお、建設資材廃棄物等の処理後は、マニフェストを監督職員に提出するものとする。

建設資材廃棄物等	処理施設名	住 所	受け入れ 時間	事業区分
アスファルト殻、くず	(株)鎌田建設 中間処理場	仙台市宮城野区扇町 3丁目4-2	午前8時 ～午後5時	中間処分 業者
無筋コンクリート殻、 くず	株)鳥羽建設工 業(株)扇町リ サイクルセン ター	仙台市宮城野区扇町 3丁目6-6	午前8時 ～午後5時	中間処分 業者
有筋コンクリート殻、 くず	(株)鳥羽建設 工業(株)扇町 リサイクルセン ター	仙台市宮城野区扇町 3丁目6-6	午前8時 ～午後5時	中間処分 業者
廃プラスチック	東北黒沢建設 工業(株)TK Rプラント	仙台市若林区卸町東 4丁目4-28	午前8時 ～午後5時	中間処分 業者

3. 残土の搬出

本工事の施工に伴う残土は、次に示す施設へ搬出することを計画している。

建設発生土	受入れ施設名	住 所	受け入れ 時間
残土	株)鳥羽建設工 業(株)扇町リ サイクルセン ター	仙台市宮城野区扇町 3丁目6-6	午前8時 ～午後5時

第10章 工事現場管理

1. 主任技術者の資格

主任技術者の資格は、1級管工事施工管理技士又は2級管工事施工管理技士若しくは同等の能力を有するものとする。なお、資格を証明する資料は、監督職員に提出するものとする。

2. 施工管理及び品質管理

施工管理及び品質管理は、改修標準仕様書（機械設備工事編）1章3節によるものとする。

第11章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

- 1) 施工上の収まり又は取り合い等の関係で工法等に変更が生じた場合
- 2) 地下埋設物の出現により変更が生じた場合
- 3) 工事数量の精査により変更が生じた場合
- 4) 仙台市水道局給水部及び下水道経営部との申請協議により変更が生じた場合

- 5) 熱中症対策に係る費用の変更が生じた場合
- 6) 現場環境（快適トイレ）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 7) 女性も働きやすい現場環境（トイレ・更衣室）の整備について、発注者及び受注者協議の上、整備に必要な費用の変更が生じた場合
- 8) 第三者との協議により変更が生じた場合
- 9) その他発注者及び受注者協議の上、必要と認めた場合

第12章 その他

1. 工事完成図書

工事完成図書は、改修標準仕様書1章11節に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成時の提出図書の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R） 正副2部
- ・工事完成時の提出図書の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

2. 熱中症対策に係る費用の計上

本工事は、次の熱中症対策を実施する場合については、受発注者間で必要な設置期間等を協議のうえ、設計変更により対応する試行工事である。

- 1) 遮光ネット（足場に設置するものに限る）
- 2) ドライミスト
- 3) 暑さ指数（WBGT値）の計測装置

3. 現場環境の改善の試行

本工事は、現場環境及び女性も働きやすい現場環境の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

なお、トイレは男女別トイレを基本とし、次の設備・機能を満たすものとする。

- 1) 洋式便座
- 2) 簡易水洗
- 3) 臭い逆流防止機能（フラッパー機能）
- 4) 容易に開かない施錠機能（二重ロック等）
- 5) 照明設備（電源がなくても良いもの）
- 6) 付属設備（衣装掛け等のフック付き又は荷物置き場・鏡・手洗いの機能）

第13章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別 紙

工 事 数 量 表

令和5年度 東北農政局宮城野第二庁舎給排水設備改修工事				
工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
1. 改修給水設備工事				
1) 土工				
根切り	小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	13.2	脇に一時置き
埋戻し（発生土、ルーズな状態）	機械投入 小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	9.3	
埋戻し（購入土埋戻し用山砂）	小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	4.4	山砂は、20% の割増し量を 単価に含む
埋戻し（発生土、ルーズな状態）	人力締固め 粘性土 タンパ60～80kg	m ³	9.3	
埋戻し（購入土埋戻し用山砂）	人力締固め 砂 振動コンパクタ前進型90kg級	m ³	4.4	
根切り・積込み	庁舎敷地の再生砕石（RC-40） 小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	1.1	再生砕石の根 切りは、10% の割増し量を 含む
再生砕石運搬	庁舎敷地内 DT2t 0.02km DID無し 往 復	m ³	1.1	再生砕石の根 切りは、10% の割増し量を 含む
埋戻し（再生砕石、ルーズな状態）	機械投入 小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	1.0	
埋戻し（再生砕石、ルーズな状態）	人力締固め 礫質土 タンパ60～80kg	m ³	1.0	
盛土（発生土、ルーズな状態）	機械投入 小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	2.9	
人力小運搬	発生土 庁舎敷地内 手車 15m	m ³	2.9	
盛土（発生土、ルーズな状態）	人力締固め 粘性土 タンパ60～80kg	m ³	2.9	
根切り・積込み（発生土、ルーズな状態）	残土処理 小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	1.0	
残土運搬	小規模 DT4t 3.4km DID有 り 往復	m ³	1.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
土工機械運搬	トラック4t積み 往復 バックホウ0.11m³ 超低騒音 排対2次 油圧式クローラ型	台	1.0	
2) 撤去工				
舗装版切断	通路部 t=15cm カッター バキューム式 切削深20cm級 ブレード22インチ アスファルト15cm以下	m	15.5	
アスファルト舗装撤去	通路部 t=15cm バックホウ0.11m³ 超低騒音 排対2次	m³	0.6	
舗装版切断	駐車場部 t=5cm カッター バキューム式 切削深20cm級 ブレード22インチ アスファルト15cm以下	m	33.9	
アスファルト舗装撤去	駐車場部 t=5cm バックホウ0.11m³ 超低騒音 排対2次	m³	0.4	
袖コンクリート撤去	通路部 無筋 t0.25×B0.5×H0.7m×両端2 コンクリートブレーカ30kg 空気 圧縮機可搬式 スクリューエンジ ン掛け7.5×7.8m³ 超低騒音 排 対2次	m³	0.2	
既設量水器箱コンクリート撤去	有筋 t0.1×B1.0×H0.8m(内寸) コンクリートブレーカ30kg 空気 圧縮機可搬式 スクリューエンジ ン掛け7.5×7.8m³ 超低騒音 排 対2次	m³	0.2	
既設量水器箱鋼製蓋撤去	人力 2枚組 60kg/枚	式	1.0	
人力小運搬	鋼製蓋 手車 38m	t	0.12	
機械はつり	Φ75mm×t180mm ダイヤモンドカッター	箇所	2.0	
機械はつり	Φ38mm×t200mm ダイヤモンドカッター	箇所	1.0	
撤去機械運搬	トラック4t積み 往復 空気圧縮機 可搬式 スクリュー エンジン掛け7.5~7.8m³ 超低騒音 排対2次	台	1.0	
3) 仮設工				
土木シート敷設・撤去	ポリプロピレン系PP織布 強度N/5cm 1000クラス 全損	m²	123.5	掘削一時置 き土 掘削脇

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
養生	小規模・複雑 男子便所、女子便所、湯沸室	m ²	13.2	器具面と流し 台面含む
整理清掃後片付け	小規模・複雑 男子便所、女子便所、湯沸室	m ²	13.2	
4) 配管工事				
水道用ポリエチレン二層管布設	地中 20PP (一種二層管) (溶剤浸透 防止被覆無し) 労務には、すみ出し、イン サート取付け、小運搬、支持 金物取付け、吊込み及び満 水、通気、通水又は耐圧試験 を含む。	m	42.5	
同上継手	42.5m/式	式	1.0	
同上接合材	42.5m/式	式	1.0	
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管布設	地中、屋外 20A SGP-VD (ねじ接合管端防 食継手) 労務には、すみ出し、イン サート取付け、小運搬、支持 金物取付け、吊込み及び満 水、通気、通水又は耐圧試験 を含む。	m	4.0	管は、5%の 割増し量を 単価に含む 継手、接合 材等を含む
同上支持金物		m	4.0	
配管分岐 (鋼管)	20A	箇所	2.0	屋外、屋内
壁貫通スリーブ	Φ75mm t180mm 屋外～男子便所	個	2.0	
保温材ポリスチレンフォーム	t20mm	m	4.0	
ビニル角柱 (解体形)		m	3.6	
水道用架橋ポリエチレン管布設	屋内 20A 5mm被覆カポリパイプW 労務には、すみ出し、イン サート取付け、小運搬、支持 金物取付け、吊込み及び満 水、通気、通水又は耐圧試験 を含む。	m	10.2	管は、5%の 割増し量を 単価に含む
同上配管カバー		m	10.2	
同上継手	10.2m/式	式	1.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
同上接合材	10. 2m/式	式	1. 0	
配管分岐 (鋼管)	20A SUS 切断、既設管取外し、分岐継 手接続及び継手・接合材含む	箇所	7. 0	男子便所及 び女子便所 の器具への 配管部
壁貫通スリーブ	Φ38mm t200mm 男子便所～湯沸室	個	1. 0	
配管切断 (鋼管)	SGP50A クロムメッキ 既設ガス用	箇所	2. 0	
人力小運搬	鋼管、器具 人肩 25m	t	0. 01	
5) 配管付属品				
相フランジ	50A SS400 ソケット差し込みすみ肉溶接	個	1. 0	
ねじ込み式継手ソケット設置	50A-20A 4段落ち 内外面樹脂コーティング	個	1. 0	
給水管同上継手設置	20A	個	1. 0	
ボール式丙止水栓 (開閉防止型) 設置	20mm 鉛レス銅合金製	個	1. 0	
ボール式逆止弁設置	20mm 鉛レス銅合金製	個	1. 0	
ボール式逆止弁継手設置	20mm	個	1. 0	
6) 水栓類、量水器				
量水器設置	契約口径変更 20mm	個	1. 0	
量水器継手設置	20mm	個	1. 0	
量水器きょう設置	20mm 耐寒蓋ABC+PVC保温材付き、 枠・本体ABS	個	1. 0	
メータ用22° 1/2ベンド設置	20mm	個	2. 0	
水抜栓設置	20mm	個	1. 0	
水抜栓きょう設置	50mm	個	1. 0	
水栓設置	20mm 湯沸室	個	1. 0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
7) 塗装及び防錆工事				
外面塗装（フランジ含む）	既設引込み給水管フランジ部 50A L360mm 素地調整1式 さび止めペイント1回（鉛・ クロムフリー） エポタール2回	m ²	0.2	既設量水器 一次側給水 管
外面防食	既設引込み給水管フランジ部 50A L360mm ポリエチレンシート外面防食 粘着テープ	m ²	0.2	既設量水器 一次側給水 管
8) 引込み給水管フランジ部補強				
コンクリート底板設置	既設引込み給水管フランジ下 平板ブロックB300×D300× t60mm	個	1.0	
再生碎石人力埋戻し	庁舎敷地の再生碎石(RC-40) B300×D300×t100mm	m ³	0.01	10%の割増 し量を根切 りする
埋戻し（再生碎石、ルーズな状態）	人力締固め 礫質土 タンパ60～80kg	m ³	0.01	
9) 既設量水器等撤去				
既設量水器撤去	地上指示計含む 50mm	個	1.0	仙台市水道 局へ返還
既設量水器二次側鋼管撤去	50A	m	0.9	
人力小運搬	鋼管 人肩 25m	t	0.01	
2. 改修排水設備(汚水)工事				
1) 土工				
根切り	人力土工	m ³	0.1	脇に一時置き
根切り	小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	37.8	脇に一時置き
埋戻し・締固め（発生土、ルーズな状態）	人力土工 タンパ60～80kg級	m ³	0.04	
埋戻し（発生土、ルーズな状態）	機械投入 小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	31.6	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
埋戻し・締固め（購入土埋戻し用山砂）	人力士工 振動コンパクタ前進型90kg級	m ³	0.04	山砂は、20% の割増し量を 単価に含む
埋戻し（購入土埋戻し用山砂）	小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	6.1	山砂は、20% の割増し量を 単価に含む
埋戻し（発生土、ルーズな状態）	人力締固め 粘性土 タンパ60～80kg	m ³	31.6	
埋戻し（購入土埋戻し用山砂）	人力締固め 砂 振動コンパクタ前進型90kg級	m ³	6.1	
根切り・積込み	庁舎敷地の再生碎石（RC-40） 小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	0.6	再生碎石の根 切りは、10% の割増し量を 含む
埋戻し（再生碎石、ルーズな状態）	機械投入 小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	0.5	
埋戻し（再生碎石、ルーズな状態）	人力締固め 礫質土 タンパ60～80kg	m ³	0.5	
根切り・積込み（発生土、ルーズな状態）	残土処理 小規模 バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	6.3	
残土運搬	小規模 DT4t 3.4km DID有 り 往復	m ³	6.3	
2) 撤去工				
舗装版切断	通路部 t=15cm カッター バキューム式 切削深20cm級 ブレード22インチ アスファルト15cm以下	m	15.4	
アスファルト舗装撤去	通路部 t=15cm バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	0.6	
袖コンクリート撤去	通路部 無筋 t0.25×B0.5×H0.3m×両端2 コンクリートブレーカ30kg 空気 圧縮機可搬式 スクリューエン ジン 掛け7.5×7.8m ³ 超低騒音 排 対2次	m ³	0.1	
3) 仮設工				
土木シート敷設・撤去	ポリプロピレン系PP織布 強度N/5cm 1000クラス 全損	m ²	116.7	掘削一時置 き土 掘削脇
4) 配管工事				

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
硬質ポリ塩化ビニル管布設	地中 VU100A 労務には、すみ出し、インサート取付け、小運搬、吊込み、通気、通水試験を含む。	m	0.3	管は、5%の割増し量を単価に含む 継手、接合材等を含む
既設排水管撤去	VP100A	m	0.3	再使用しない
既設管取外し・接続	VP50A 接合材含む	箇所	1.0	
既設污水管切断	VP100A	箇所	1.0	
継手45Lエルボ布設	VP100A 継手含む	箇所	1.0	
既設管取外し・接続	VP100A 接合材含む	箇所	1.0	
硬質ポリ塩化ビニル管布設	地中 VU125A 労務には、すみ出し、インサート取付け、小運搬、吊込み、通気、通水試験を含む。	m	37.7	管は、5%の割増し量を単価に含む 継手、接合材等を含む
既設管取外し・接続	HP125mm 接合材含む	箇所	1.0	
既設污水管切断	VP100A	箇所	2.0	
5) 污水枡類布設				
硬質塩化ビニル製インバート枡90L①布設	小口径枡Φ150×H400 樹脂製蓋 無耐荷 雑材料含む	個	1.0	
硬質塩化ビニル製インバート枡45L②布設	小口径枡Φ150×H400 樹脂製蓋 無耐荷 雑材料含む	個	1.0	
硬質塩化ビニル製インバート枡15L④布設	小口径枡Φ200×H790 T-2樹脂製蓋 雑材料含む	個	1.0	
硬質塩化ビニル製インバート枡ST⑤布設	小口径枡Φ200×H1020 T-2樹脂製蓋 雑材料含む	個	1.0	
硬質塩化ビニル製インバート枡ST⑥布設	小口径枡Φ200×H1520 T-2樹脂製蓋 雑材料含む	個	1.0	
6) 污水枡類撤去				
硬質塩化ビニル製インバート枡90L逆向①、②撤去	小口径枡Φ150×H400 樹脂製蓋 無耐荷	個	2.0	再使用しない

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
コンクリート製インバート枡WLS・枠付き④撤去	Φ400×H870 鋳鉄製蓋MHBΦ400 500kg	個	1.0	再使用しない
人力小運搬	鋳鉄蓋 手車 14m	t	0.02	
7) 既設公設枡改修				
側塊撤去	450×450×H1980mm 鋳鉄製MHBΦ400 500kg H600mm/1段の上段2段を撤去	式	1.0	再使用する
側塊布設	450×450×H1980mm 鋳鉄製MHBΦ400 500kg H600mm/1段の上段2段を布設	式	1.0	
インバート改修	600角以下	箇所	1.0	
ポリマーセメントモルタル(プレミックスタイプ)		m³	0.02	
機械はつり	Φ150mm×t50mm VU125A用 ダイヤモンドカッター	箇所	1.0	
3. 改修雨水排水設備工事				
1) 土工				
根切り	人力土工	m³	0.2	脇に一時置き
根切り	小規模 バックホウ0.11m³ 超低騒音 排対2次	m³	9.5	脇に一時置き
埋戻し・締固め(発生土、ルーズな状態)	人力土工 タンバ60～80kg級	m³	0.1	
埋戻し(発生土、ルーズな状態)	機械投入 小規模 バックホウ0.11m³ 超低騒音 排対2次	m³	5.2	
埋戻し・締固め(購入土埋戻し用山砂)	人力土工 振動コンパクタ前進型90kg級	m³	0.1	山砂は、20% の割増し量を 単価に含む
埋戻し(購入土埋戻し用山砂)	小規模 バックホウ0.11m³ 超低騒音 排対2次	m³	4.1	山砂は、20% の割増し量を 単価に含む
埋戻し(発生土、ルーズな状態)	人力締固め 粘性土 タンバ60～80kg	m³	5.2	
埋戻し(購入土埋戻し用山砂)	人力締固め 砂 振動コンパクタ前進型90kg級	m³	4.1	
根切り・積込み(発生土、ルーズな状態)	残土処理 小規模 バックホウ0.11m³ 超低騒音 排対2次	m³	4.4	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
残土運搬	小規模 DT4t 3.4km DID有り 往復	m ³	4.4	
2) 仮設工				
土木シート敷設・撤去	ポリプロピレン系PP織布 強度N/5cm 1000クラス 全損	m ²	78.6	掘削一時置き土 掘削脇
3) 配管工事				
硬質ポリ塩化ビニル管布設	地中 VU100A 労務には、すみ出し、インサート取付け、小運搬、吊込み、通気、通水試験を含む。	m	1.1	管は、5%の割増し量を単価に含む 継手、接合材等を含む
既設雨水管切断	VP100A	箇所	2.0	
硬質ポリ塩化ビニル管布設	地中 VU150A 労務には、すみ出し、インサート取付け、小運搬、吊込み、通気、通水試験を含む。	m	25.1	管は、5%の割増し量を単価に含む 継手、接合材等を含む
既設管接続	HP150mm 接合材含む	箇所	1.0	
既設管接続	屋上からの排水管 VP100mm 接合材含む	箇所	1.0	
4) 雨水枡類布設				
硬質塩化ビニル製枡 r 布設	Φ400×H690 T-2樹脂製蓋 雑材料含む	個	1.0	
硬質塩化ビニル製枡 t 布設	Φ400×H810 T-2樹脂製蓋 雑材料含む	個	1.0	
5) 既設雨水枡 c 改修 (900×900×H1380mmグレーチング蓋)				
機械はつり	Φ175mm×t50mm VU150A用 ダイヤモンドカッター	箇所	1.0	
ポリマーセメントモルタル(プレミックスタイプ)		m ³	0.001	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
4. 建設資材廃棄物等の処理				
1) 発生材積込運搬				
イ. 発生材積込				
積込 (アスファルト殻、くず)	バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	1.6	
積込 (無筋コンクリート殻、くず)	バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	0.4	
積込 (無筋コンクリート殻、くず)	人力	m ³	0.001	
積込 (有筋コンクリート殻、くず)	バックホウ0.11m ³ 超低騒音 排対2次	m ³	0.3	
積込 (廃プラスチック)	人力	m ³	0.05	
ロ. 発生材運搬				
運搬 (アスファルト殻、くず)	DT2tトラック 運搬距離L=3.5km DID有り 小規模	m ³	1.6	
運搬 (無筋コンクリート殻、くず)	DT2tトラック 運搬距離L=3.3km DID有り 小規模	m ³	0.4	
運搬 (有筋コンクリート殻、くず)	DT2tトラック 運搬距離L=3.3km DID有り 小規模	m ³	0.3	
運搬 (廃プラスチック)	DT2tトラック 運搬距離L=4.8km DID有り 小規模	m ³	0.05	
2) 発生材処理				
処理費 (アスファルト殻、くず)		t	3.8	
処理費 (無筋コンクリート殻、くず)		t	0.9	
処理費 (有筋コンクリート殻、くず)		t	0.7	
処理費 (廃プラスチック)		m ³	0.05	
5. 申請書類作成等				
1) 給水設備工事申請書類作成等	仙台市水道局給水部			
申請書等作成・手続き	添付図面等作成含む	式	1.0	

工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	備 考
申請打合せ	2回	式	1.0	
中間検査申請書等作成・手続き	不可視部 添付書類作成含む	式	1.0	
耐圧試験申請書等作成・手続き・立会い	添付書類作成含む なお、試験費は配管工事費に含まれる	式	1.0	
完成検査申請書等作成・手続き・立会い	添付書類作成含む	式	1.0	
2) 排水設備(汚水)工事及び雨水排水設備工事申請書類作成等		仙台市建設局下水道経営部		
申請書等作成・手続き	添付図面等作成含む 水理計算書含む	式	1.0	
既設公設枅改造申請書等作成・手続き	添付書類作成含む 排水設備(汚水)工事のみ	式	1.0	
申請打合せ	2回	式	1.0	
中間検査申請書等作成・手続き	不可視部 添付書類作成含む	式	1.0	
完成検査申請書等作成・手続き・立会い	添付書類作成含む	式	1.0	
6. 共通仮設費(積み上げ分)				
1) コンクリート内X線非破壊検査				
RC壁機械はつり部Φ75mm×t180mm	平日作業 無人 乾燥 屋外ー男子便所	箇所	2.0	
RC壁機械はつり部Φ38mm×t200mm	平日作業 無人 乾燥 男子便所ー湯沸室	箇所	1.0	

